

日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	
		夏期講習Ⅱ期 ※集合授業実施 月謝振替日					通常授業
6	7	8	9	10	11	12	
休校		夏期講習Ⅲ期 ※集合授業実施 月謝再振替日					通常授業
13	14	15	16	17	18	19	
8/13～8/20 休校 (※ 通信指導の返却も休み)							
20	21	22	23	24	25	26	
休校 育伸テスト締切	7/15授業 振替日	通常授業開始					
27	28	29	30	31			
五木駿々堂模試	休校						
開校時間 火～金 14:00～21:10 土 10:30～19:00 日 13:00～17:00 夏期講習中 10:30～19:00 ※ 集合授業及び土曜の授業は通常通り実施します ★ 8/13～8/20 は休校のため教室を閉鎖します。この期間は通信指導の返却も休みとなります。							

★ 8月の予定 7/31～8/4 夏期講習Ⅱ期 8/7～11 夏期講習Ⅲ期 8/13～20 休校
8/21、22 祇園祭休校振替日 8/27 五木駿々堂模試

M.access (エム・アクセス)

TEL:075-256-7739

Fax:075-256-7724

E-mail maccess@sch.jp

独断◆出版不況と言われて久しい。三〇四十年前ならベストセラーと言われれば100万部販売のことであつた。それが50万部、20万部、そして現在のはたった10万部でベストセラーと呼ばれる。◆かつて「本」は、貴重品であつた。以前ネットで、おそらく大正か昭和初期のものであるが、小売店としての岩波書店のまわりに、新刊出版を目当てに、ズラリと人が並んでいる写真を見た。当時、ある種の人々は、知識というものに憧れ、それを渴望し、現在なら何万円とするような新刊の単行本を、どうしても手に入れたいと、場合によっては徹夜をして並んだのだ。◆現在、ネットの出現によって、本はコモディティ化(貴重品、付加価値の高いものが、一般的などにもある商品と化すること)してしまつた。以前なら、活字情報は本か新聞かでしか手に入られなかったものが、今はスマホの中に大量にある。量ならいくらでも手に入れることができる。◆コモディティ化したということは、元々あつた付加価値がなくなつたということである。本は著者および出版社がその内容に責任をもつて発刊する。だが、ネットの活字情報には文責がほぼない。誤字あり脱字あり、言葉の用法の間違いあり、文法の間違いあり、の間違いのオンパレードである。◆誤字・脱字程度ならまだしも、その内容自体が間違っていることも多い。とにかくページビューを増やして広告料を取りたいというだけの多くのサイトでは、「百円ライター(安い価格で売文している物書きを揶揄した語)」に毛が生えた程度のレベルの人間が「編集長」として、間違つた内容の文章を書き散らしている。大手出版社のサブサイトでも同様だ。続く(み)